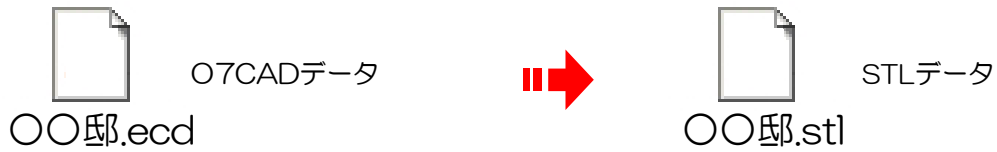


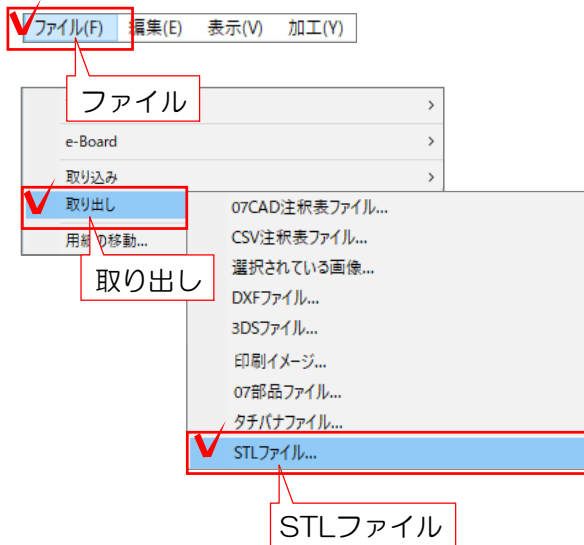
STLデータの取り出し方法

O7CADのデータをSTLデータで取り出す方法です。STLとは、3Dプリンタ用のデータ形式です。

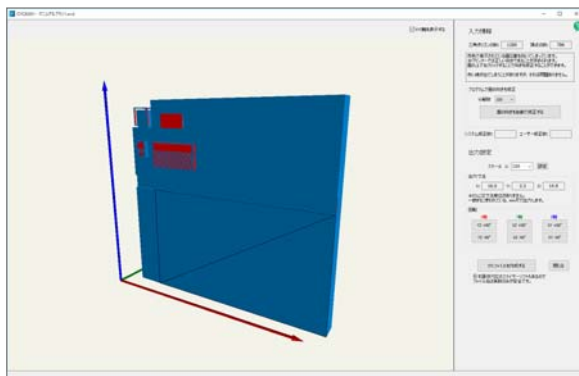


1 取り出し

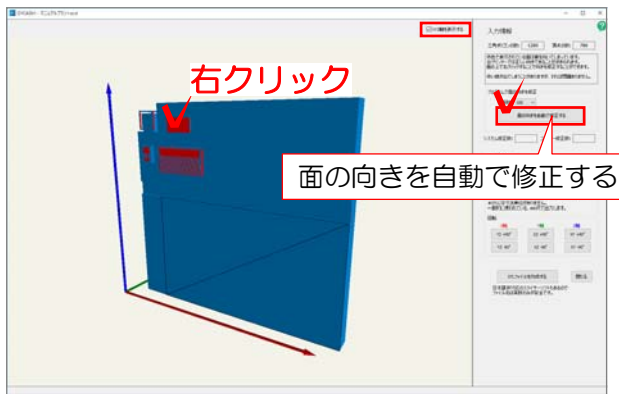
1-1 取り出ししたい図形を1つ選択します。



1-2 「ファイル」メニューから「取り出し」→「STLファイル」を選択します。



STL取り出しの画面が表示されます。

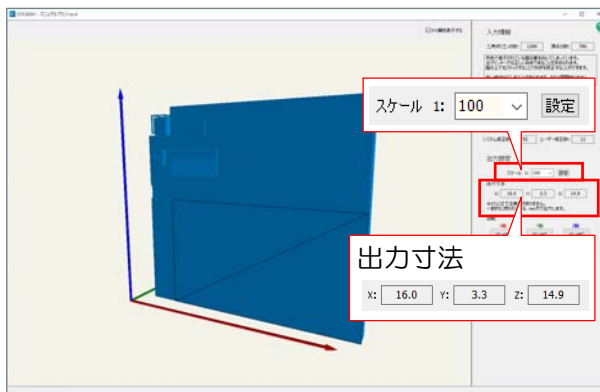


1-3 取り込んだ図形を確認し、すべてが青色になっているか確認します。

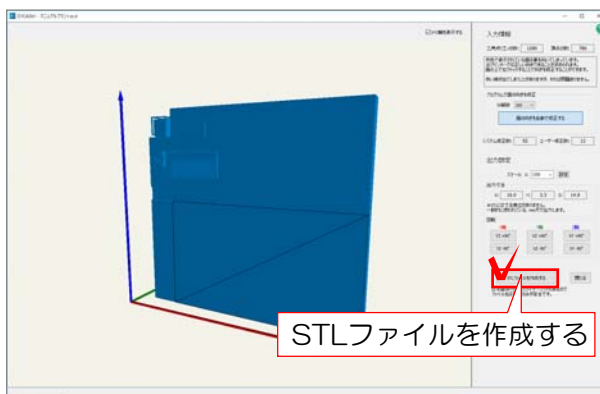
【赤色の部分がある場合】
「面の向きを自動で修正する」をクリックします。赤色の部分がまだ残っている場合は図形を右クリックしてすべてを青色の状態になるよう調整します。

【すべて青色の場合】
ここでの作業は必要ありません。

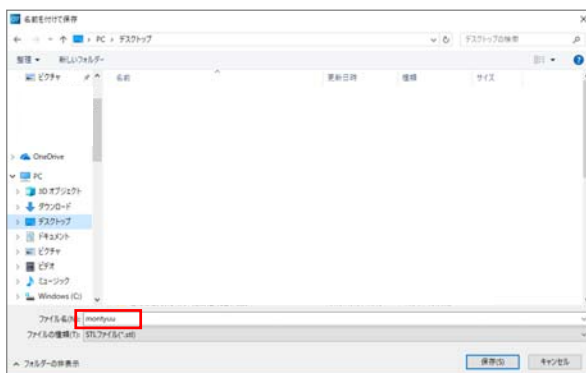
すべてが青色の表示になりました。



1-4 出力寸法を確認しながら、スケールを変更します。



1-5 「STLファイルを作成する」をクリックします。



1-6 保存場所を選び、名前を付けて保存します。

※ファイル名は半角英数字でつけるようにしましょう。



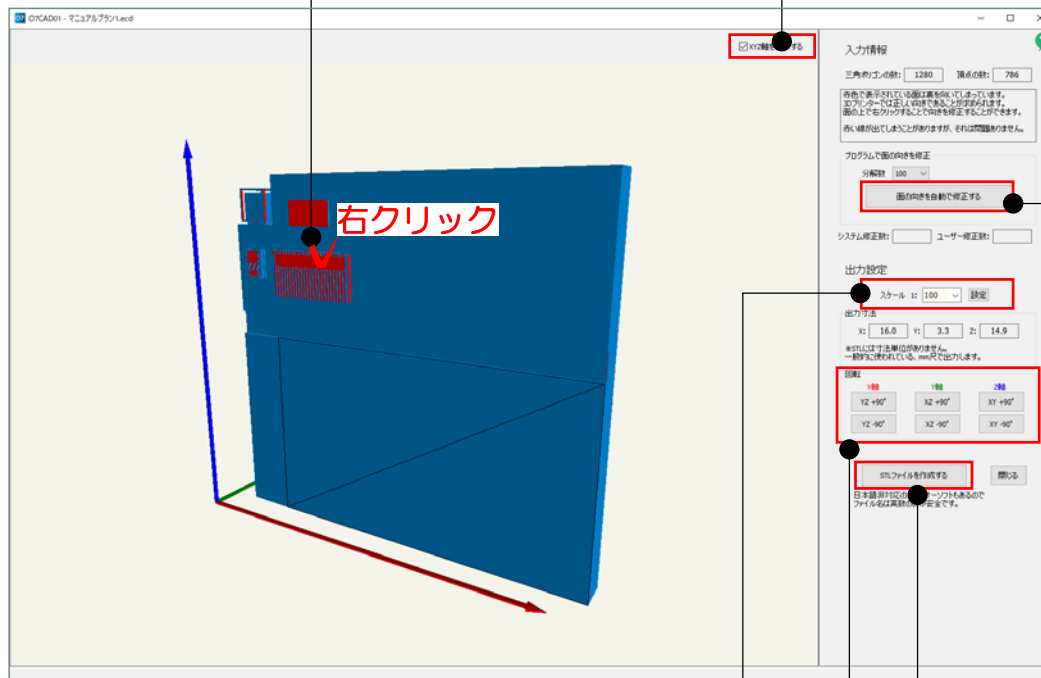
2 取り出し画面説明

STL取り出し画面の概要です。

取り出す図形の3Dデータが表示されます。
青色の部分→面の向きが正しい
赤色の部分→面の向きが正しくない
 ※3Dプリンタでは、面の向きが正しい方向
 になっている必要がありますので、すべて
 青色になるように調整します。
 図形を右クリックすると面の向きを修正で
 きます。

面の向きを自動で修正する：図形が赤色で
 表示されている部分があった時に、自動で
 面の向きを修正します。分割数を大きくす
 ると細かい部分も検出できるようになりま
 すが、時間がかかる場合があります。

XYZ軸を表示する：
 XYZの3軸を画面上に表示します。



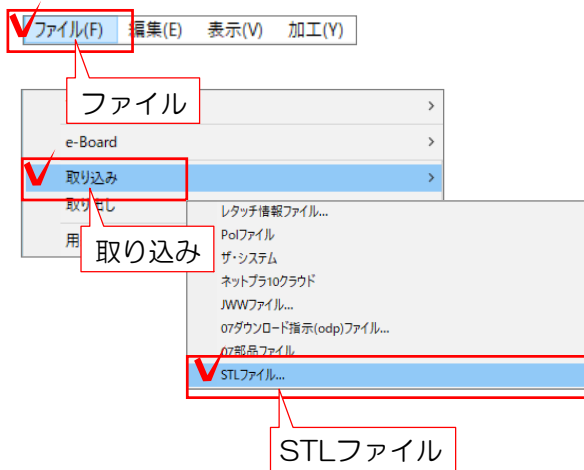
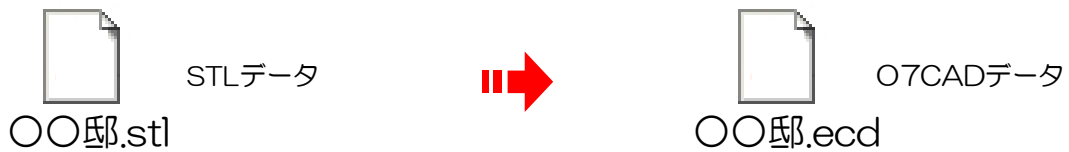
スケール：出力するスケールを
 指定できます。
 スケール100だと1mのものが
 10mmでプリントされます。

回転：図形をXYZ軸で回転することができ
 ます。
 ※カーポートの屋根のように空中にある物
 体を印刷するためには、サポート材という
 後から剥がす必要がある足が生成されま
 すが、屋根を下にして出力するとサポート材
 はほとんど生成されなくなります。

STLファイルを作成する：STLファイルを
 作成します。日本語非対応のスライサーソ
 フト(3Dプリントするためのソフト)もあり
 ますのでファイル名は半角英数字でつける
 ようにしましょう。

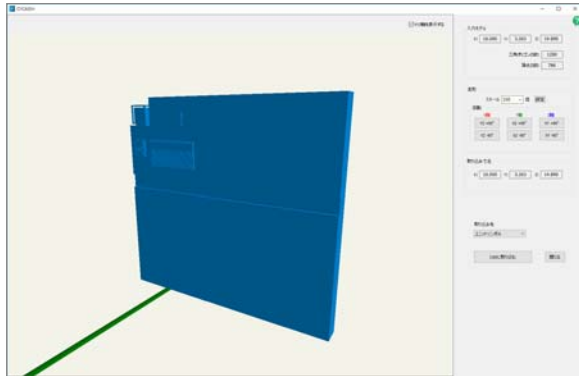
STLデータの取り込み方法

STLデータをO7CADに取り込む方法です。

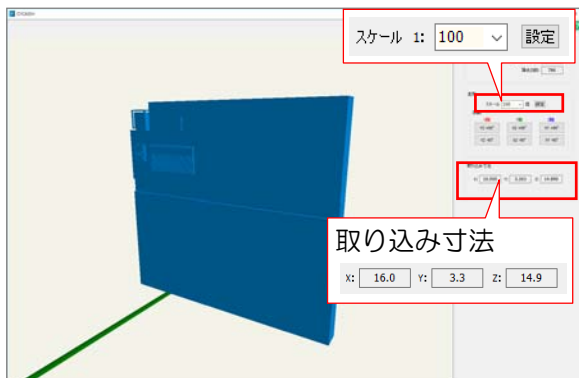


1 取り込み

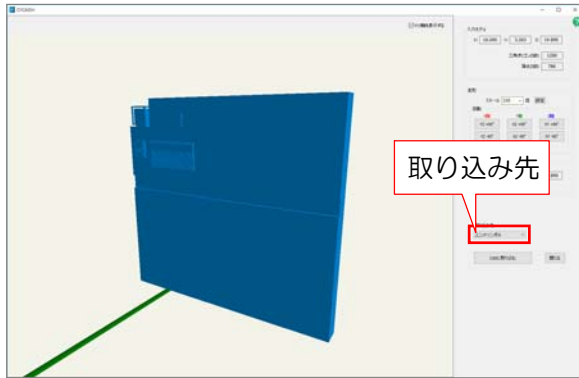
1-1 CADを起動し「ファイル」メニューから「取り込み」→「STLファイル」を選択します。



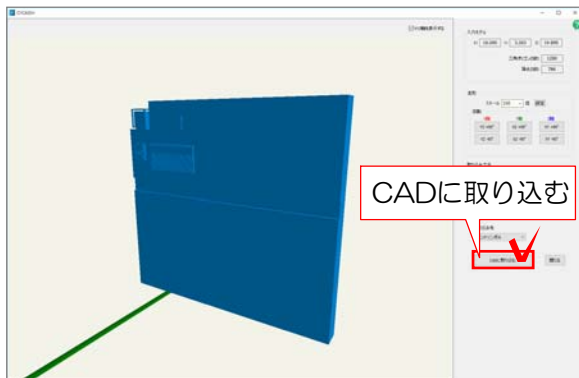
STL取り込みの画面が表示されます。



1-2 取り込み寸法を確認しながら、スケールを変更します。



1-3 取り込み先のレイヤを選択します。



1-4 「CADに取り込む」をクリックします。

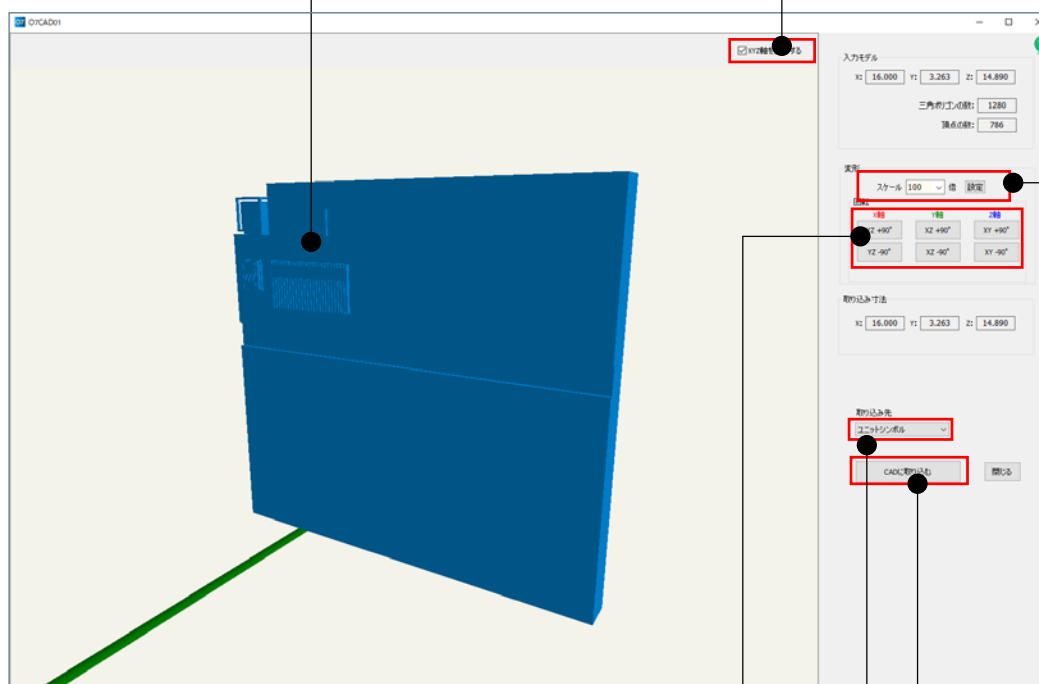
2 取り込み画面説明

STL取り込み画面の概要です。

スケール：取り込みするスケールを指定できます。

取り込もうとしている図形が表示されます。

XYZ軸を表示する：
XYZの3軸を画面上に表示します。



回転：図形をXYZ軸で回転することができます。

取り込み先：取り込み先をユニットレイヤか造園レイヤどちらにするか選択できます。

CADに取り込む：O7CADに取り込みます。